

令和7年度鳥取県立高等学校募集生徒数及び入学者選抜検査内容等一覧表の見方（全日制及び定時制課程）

1 学校名、募集人員等

【大 学 科】 大学科名です。 総 合
(単位制) とは、単位制の総合学科であることを、 普 通
(単位制) は、単位制の普通学科であることを表します。

【小 学 科】 小学科名又は部名です。（ ）はコース名です。

鳥取緑風高校及び米子白鳳高校の定時制課程は、午前部、午後部、あるいは夜間部に分かれています。

【募集生徒数】 …欄内の } は、くくり募集（1学科ごとではなく、複数の学科等をまとめて募集する方法）であることを表します。

2 特色入学者選抜

【出願要件、選抜方法、出願する際の評定の目安等】

・ 実用英語技能検定(公益財団法人日本英語検定協会)は「英検」、日本漢字能力検定(公益財団法人日本漢字能力検定協会)は「漢検」、実用数学技能検定(公益財団法人日本数学検定協会)は「数検」とあらわしています。

・ 「出願する際の評定の目安」を示している場合、その高校に入学後の学習を円滑に進めるための目安として示しています。なお、評定については、2学期制の中学校等の受検生は前期の通知表を参考に、3学期制の中学校等の受検生は1、2学期の通知表を参考にし、自ら判断して出願します。評定合計は、対象となる教科の評定の合計、評定平均は、対象となる教科の評定の合計を対象となる評定数で除した数値（小数点第2位を四捨五入）です。

(例) 国語3、社会3、数学4、理科4、英語5、音楽3、美術3、保健体育4、技術・家庭3の9教科の場合
 $(3 + 3 + 4 + 4 + 5 + 3 + 3 + 4 + 3) \div 9 = 32 \div 9 = 3.5555 \dots$
 →この場合の評定合計は32、平均評定は「3.6」となります。

【調査書で重視する教科】

・ 調査書の合計評定算出にあたって、調査書で重視される教科を示しています。

【実施検査内容】

・ 特色入試を行うすべての高校で面接又は口頭試問を実施します。

・ 「●」が、各校が実施する検査内容です。

・ 「学力検査」の●の下の（ ）は、実施する学力検査の教科です。（国）は国語、（数）は数学、（社）は社会、（理）は理科、（英）は英語です。

・ 「小論」は小論文、「プレゼン」はプレゼンテーションをあらわします。

3 一般入学者選抜

【学力検査実施教科】

学力検査は、国語・社会・数学・理科・英語（聞き取り検査も実施します）の5教科で実施します。

ただし、鳥取緑風高校、倉吉東高校、米子東高校及び米子白鳳高校の定時制課程は、3教科で実施します。

【調査書の合計評定：学力検査の合計得点】

・ 調査書の合計評定は、学力検査を実施する教科の評定に対し、学力検査を実施しない教科の評定を2倍して算出します。

(例) 全日制課程で受検教科数が5教科の場合の合計評定

第3学年で学習する*各教科の調査書の絶対評価（5段階評定）

5点 × 5教科 × 3

← 学力検査を実施する教科数

+

5点 × 4教科 × 6

← 学校が決めた倍率

= 195

← 調査書の合計評定

学力検査を実施しない教科の評定は実施する教科の倍率に対して必ず2倍する

*各教科とは「国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭及び外国語」をいう。

(例) 全日制課程で受検教科数が5教科の場合の合計評定

5点 × 5教科 × 2 + 5点 × 4教科 × 4 = 130点

5点 × 5教科 × 3 + 5点 × 4教科 × 6 = 195点

5点 × 5教科 × 4 + 5点 × 4教科 × 8 = 260点

(例) 定時制課程で受検教科数が3教科の場合の合計評定

5点 × 3教科 × 2 + 5点 × 6教科 × 4 = 150点

「調査書の合計評定」：「学力検査の合計得点」の
 およその比率

調査書：学力検査	比率
130 : 250	= 3.4 : 6.6
195 : 250	= 4.3 : 5.6
260 : 250	= 5.1 : 4.9

・ 学力検査の合計得点は、250点満点（50点 × 5教科）となります。

・ 「調査書の合計評定」：「学力検査の合計得点」の比率は8 : 2から2 : 8の範囲内としています。

【その他の検査内容】

一般入試では、すべての高校で面接を実施します。

学校名	特色入学者選抜				一般入学者選抜												
	大学科	小学科 (コース)	募集生徒数	募集うち県 外生徒 (人程度)	調査 書で 重視 する 教科	実施検査内容						県外 通学 生徒 募集 実施	学力検 査実施 教科	調査書 の合計 評定： 学力検 査の合 計得点	その 他の 検査 内容		
						学力 検査	面接	口頭試問	作文	小論	実技 検査	プレゼン					
鳥取工業	工業	機械 電気 情報工学 建設工学	152	76	4	無	● (数)	●	●	●	○	○	○	○	5教科	195 : 250	面接
						無	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○
鳥取湖陵	工業	食品 システム 緑地 デザイン	38	19	—	無	●	●	●	●	○	○	○	○	5教科	195 : 250	面接
						無	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○
家庭	人間環境	情報科学	38	19	—	無	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○
						無	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○
情報	総合 (単位制)	情報科学	76	22	3	無	●	●	●	●	○	○	○	○	5教科	195 : 250	面接
						無	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○

※2 5教科のうち、志願者が3教科を選択して受験し、高得点の2教科の合計得点で総合的に判定します。

※3 志願者数により、面接は集団面接に変更の場合があります。

学校名	大学科	小学科 (コース)	募集生徒数	募集人数 (人以内)	うち県外生徒 (人程度)	特色入学者選抜		一般入学者選抜																		
						出願要件、選抜方法、出願する際の評定の目安等		調査書で重視する教科	学力検査		面接	口頭試問		作文	小論	実技検査	プレゼン	県外通学生徒募集実施	学力検査実施教科	調査書の合計評定：学力検査の合計得点	その他の検査内容					
						個人	集団		個人	集団																
八頭	普通 (単位制)	普通	240	12	—	<p style="text-align: center;">創造活動特色選抜</p> <p>出願要件＞ ○創造力豊かで探究心があり、高校での探究活動に意欲的に取り組める者、かつ、中学校での学習活動や文化活動またはこれに類する活動における実績が次の(1)～(4)のいずれかに該当する者 (1)創造的活動（文化的活動を含む）の県大会レベル以上の大会や発表会において、入賞以上の成績をおさめた者 (2)競の目安が明示されている資格試験で、中学校卒業程度を超えれるレベルの資格・検定を取得している者 (3)校外の発表会への参加やボランティア活動に積極的に取り組むなど、意欲的に課外活動に取り組んだ者 (4)校内活動（生徒会活動、学級活動、部活動等）の中心的存在として、その充実・発展に努めた者</p> <p>＜選抜方法＞ ○実施検査内容、志望理由書、調査書、学校が定める実績等を証明する書類等を資料とし総合的に判定します。 ＜出願する際の評定の目安＞ ○第3学年の9教科の評定平均が3.5以上 ＜備考＞ ○出願要件の(1)～(3)については、その実績等を証明する書類の提出を求めます。</p>										● (国・数・英)	●	●	●	●	●	●	●	○	130 : 250	面接
						無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	195 : 250	面接						
智頭農林	農業	生産科学	68	34	4	<p>出願要件＞ ○次の1～3のすべてに該当する者 1 学科に対する興味・関心が高く、日々の学習や部活動に積極的に取り組む意欲のある者 2 学校のルールを守ることができる者 3 次の(1)～(3)のいずれかに該当する者 (1)専門分野の実習や体験活動に積極的に取り組み意欲のある者 (2)地域に貢献する活動に積極的に取り組み意欲のある者 (3)将来、関連産業へ従事する意欲のある者</p> <p>＜選抜方法＞ ○志望理由書、調査書、実施検査内容等を資料とし、総合的に判定します。 ＜出願する際の評定の目安＞ ○なし</p>										無	●	●	●	●	●	●	●	○	195 : 250	面接
		森林科学				無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	195 : 250	面接								
倉吉東	普通 (単位制)	普通	200	30※	3	<p>出願要件＞ ○次の1又は2に該当する者 1 探究心を持ち、主体的に自らの学びを深めていく意欲のある者（スポーツ・文化芸術活動での取組を含みます） 2 国際的な視野を身につけて将来国内外で活躍したいという希望を持つ者、又は国際バカロレア教育に興味関心のある者</p> <p>＜選抜方法＞ ○調査書、志望理由書（活動実績を含む）、作文及び面接の内容等を資料とし、総合的に判定します。 ＜出願する際の評定の目安＞ ○第3学年の9教科の評定平均が4.0以上 ＜備考＞ ○次の1、2の項目に該当する者は、その内容に応じてそれぞれ評価に加味します。 1 校内外で研究・探究的な活動を行い、その成果が大会等で認められ、優秀な成績をおさめた者 2 数学、理科、技術・家庭（プログラミング）のいずれかの分野で、公的な資格を有している者</p> <p>調査書では、実用英語技能検定準2級以上をもっている受検生は第3学年の英語の評定を5として扱います。また、第3学年の数学の評定については2倍にして選抜の資料とします。</p>										数学・英語	●	●	●	●	●	●	●	○	195 : 250	面接
						※30人程度	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	195 : 250	面接							

学校名	大学科	小学校(コース)	募集生徒数	募集人数(人以内)	募集うち県外生徒(人程度)	特色入学者選抜		一般入学者選抜											
						出願要件、選抜方法、出願する際の評定の目安等	調査書で重視する教科	学力検査	面接	口頭試問	作文	小論	実技検査	プレゼン	県外通学生徒募集実施	学力検査実施教科	調査書の合計評定：学力検査の合計得点	その他の検査内容	
倉吉西	普通科(単位制)	普通	120	24※	3	<p>出願要件、選抜方法、出願する際の評定の目安等</p> <p><出願要件> ○次の1、2の両方に該当する者 1 ボランティア活動の実績を有する者(主催者の証明が必要) 2 次の(1)、(2)のいずれかに該当する者 (1)英検3級以上相当の資格、または、それに相当する英語の学力を有する者 (2)理数分野に興味・関心があり、入学後も積極的に学習しようとする意欲のある者 <選抜方法> ○志望理由書、調査書、実施検査内容を資料とし、総合的に判定します。 <出願する際の評定の目安> ○第3学年の各教科の評定において、次の1、2の両方を満たす者 1 9教科の評定平均が3.8以上 2 次の(1)、(2)のいずれかに該当する者 (1)英語の評定が4以上 (2)数学又は理科の評定が4以上 <備考> ○出願要件1については、ボランティア活動の実績を証明する書類の提出を求めます。</p>	無	●	●							○	5教科	130: 250	面接
							※24人程度												
倉吉農業	農業	生物	34	10	5	<p>出願要件、選抜方法、出願する際の評定の目安等</p> <p><出願要件> ○当該学科の「アドミッション・ポリシー」のすべてに該当する者 <選抜方法> ○志望理由書、調査書、実施検査内容を資料とし、総合的に判定します。 <出願する際の評定の目安> ○第3学年の9教科の評定合計が27以上</p>	無	●		●						○	5教科	195: 250	面接
倉吉総合産業	工業	機械	38	19	2	<p><出願要件> ○次の1～3のすべてに該当する者 1 当該学科のスキルポリシーを理解しており、当該学科を志望する動機・理由や将来の進路目標が明確であること 2 学習成績が良好で、学習・資格取得に積極的に取り組む意志があること 3 基本的な生活習慣を身につけているとともに、生徒会活動・スポーツや文化的な活動などの語活動に優れた能力・適性・実績を有し、入学後も継続する強い意志を有すること</p>	無									○	5教科	195: 250	面接
		電気	38	19	2											○			
	商業	38	19	2	<p><選抜方法> ○志望理由書、調査書、実施検査内容を資料とし、総合的に判定します。 <出願する際の評定の目安> ○なし</p>										○				
	家庭生活デザイン	38	19	2												○			

学校名	大学科	小学科 (コース)	募集生徒数	募集人数 (人以内)	うち県外生徒 (人程度)	特色入学者選抜		一般入学者選抜											
						調査書で重視する教科	実施検査内容					県外通学生徒募集実施	学力検査実施教科	調査書の合計 評定：学力検査の合計得点	その他の検査内容				
							面接	口頭試問	作文	小論	実技検査					プレゼン			
鳥取中央育英	普通 (単位制)	普通	120	20	3	無	無	●	●	●	●	●	●	●	●	○	5教科	195： 250	面接
米子東	普通 (単位制)	普通 (生命科学) 普通 (普通)	40 240	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5教科	130： 250	面接
米子西	普通 (単位制)	普通	280	35	—	無	無	●	●	●	●	●	●	●	●	—	5教科	130： 250	面接

令和7年度鳥取県立高等学校募集生徒数及び入学者選抜検査内容等一覧表
 <定時制課程>

学校名	大学科	小学校	募集生徒数(人以内)	うち県外生徒(人程度)	調査書で重視する教科	実施検査内容						一般入学者選抜					
						面接	口頭試問	作文	小論	実技検査	プレゼン	県外通学生徒募集実施	学力検査実施教科	調査書の合計評定：学力検査の合計得点	その他の検査内容		
																個人	集団
鳥取緑風	総合(単位制)	【午前】	70	14	無	●		●					3教科 国語 数学 英語	150: 150	面接		
		【午後】															
		【夜間】				4											
倉吉東	普通(単位制)	普通	40	—	—	—	—	—	—	—	—	3教科 国語と 他の4 教科が 志願 者が2 教科を 指定	150: 150	面接			
米子東	普通(単位制)	普通	30	—	—	—	—	—	—	—	—	3教科 国語と 他の4 教科が 志願 者が2 教科を 指定	150: 150	面接			
米子白鳳	総合(単位制)	【午前】 【午後】	60	—	—	—	—	—	—	—	—	3教科 国語 数学 英語	150: 150	面接			
小		計	220	18													

<通信制課程>

学校名	大学科	小学校	募集生徒数	選抜方法
鳥取緑風	普通(単位制)	普通	約80	面接・書類審査
米子白鳳	普通(単位制)	普通	約80	面接・書類審査
小		計	約160	

令和7年度鳥取県立高等学校特色入学者選抜検査内容等一覧表

<全日制課程>

学校名	大学科	小学科(コース)	面接・口頭試験	作文・小論文・プレゼンテーション・実技検査等
鳥取西	普通	普通	個人面接(プレゼンテーション内容に関する質疑を含める)	【プレゼンテーション】 「出願要件に関すること(自己推薦書の内容を含める)」 <出願要件> ○以下の(1)～(3)のいずれかに該当する者 (1) 全国的または中国地区等レベルの大会やコンクールなどで入賞相当以上の成績を挙げた者 (2) 中学校で履修した教科に係る資格や検定等において卓越した能力を示したり、資格を得たりした者 (3) 研究活動や社会貢献活動等において主導的な役割を果たし、顕著な成果を挙げた者 (注) 例えば、英検2級以上、教検準1級以上、漢検準1級以上相当とする
鳥取商業	商業	商業	個人面接	【小論文】 与えられた資料や課題文等を要約する力や、その内容に対して自分の考えをまとめ、適切に表現できる力等をみられるとともに、ビジネス教育に対する興味・関心や適性を把握する
鳥取工業	工業	機械 電気 情報 建設	集団面接	【学力検査】 数学(基本的な問題)
鳥取湖陵	農業	食品システム	個人面接	【プレゼンテーション】 「農産物の生産や加工について興味・関心を持っていることと、食品システム科で学びたいこと」
	緑地デザイン	緑地デザイン	個人面接	【プレゼンテーション】 「造園や草花について興味・関心を持っていることと、緑地デザイン科で学びたいこと」
	工業	電子機械	個人面接	【プレゼンテーション】 「機械や電気・電子について興味・関心を持っていることと、電子機械科で学びたいこと」
	家庭	人間環境	個人面接	【プレゼンテーション】 「衣食住や保育・福祉など家庭科の内容について興味・関心を持っていることと、人間環境科で学びたいこと」
	情報	情報科	個人面接	【プレゼンテーション】 「ICT機器を利用した情報の活用や発信について興味・関心を持っていることと、情報科学科で学びたいこと」
青谷	総合	総合	個人面接	【学力検査】 ・5教科(国語・社会・数学・理科・英語)の中から、志願者が3教科を選択して受検する。選択して受検した3教科のうち、高得点の2教科の合計点数で総合的に判断する。各学年の学習内容について基礎的・基本的事項を出題する
岩美	普通	普通	個人面接	【作文】 本校で学ぶことに対する意欲及び興味関心を把握するためにふさわしいテーマを出題する

学校名	大学科	小学科(コース)	面接・口頭試験	作文・小論文・プレゼンテーション・実技検査等
八頭	普通	普通	個人面接	<p>【学力検査】創造活動特色選抜・スポーツ活動特色選抜 国語、数学、英語の基礎的な内容に関する検査</p> <p>【プレゼンテーション】創造活動特色選抜 「中学生のときに頑張ったこと（その成果と取組の経過、そこから得たことを高校生活にどのように活かして発展させたいか）」 ※出願時に提出する志望理由書の「1 該当する出願要件」に基づいた内容とする</p> <p>【実技検査】スポーツ活動特色選抜 ・専門種目に係る基礎的及び実戦的運動能力に関する検査 ・検査は、下記の実技種目の中から1つ選択する ＜男子＞陸上競技、バレーボール、ソフトテニス、サッカー、柔道、剣道、ホッケー、硬式野球 ＜女子＞陸上競技、バレーボール、ソフトテニス、柔道、ホッケー ※県外生徒は、陸上競技（男子・女子）、柔道（男子）、剣道（男子）、ホッケー（男子・女子）、硬式野球（男子）から1つ選択する</p>
智頭農林	農業	生産科 森林科	個人面接	<p>【作文】 学校、学科及びコースに対する興味・関心、目的意識、学習意欲等を把握するためにふさわしいテーマを出題する</p>
倉吉東	普通	普通	個人面接	<p>【作文】 「出願要件」に基づき、受験生の意欲や適性等を把握することができテーマを出題する</p>
倉吉西	普通	普通	個人面接	<p>【プレゼンテーション】 「中学校3年間で頑張ったこと、社会で活躍するために今後頑張りたいこと」</p>
倉吉農業	農業	生物 食品 環境	個人面接	<p>【作文】 本校で学ぶにあたっての意欲及び興味、関心を把握する</p>
倉吉総合産業	工業 商業 家庭	機械 電気 ビジネス 生活デザイン	集団面接	<p>【作文】 出願要件に該当するかどうかを把握するための作文テーマとする</p>
鳥取中央育英	普通	普通	個人面接	<p>【作文】特別活動特色選抜・スポーツ活動特色選抜 本校で学ぶことに対する意欲、関心、目的意識等を把握するためにふさわしいテーマを出題する</p> <p>【実技検査】スポーツ活動特色選抜 体力診断 (反復横跳び、立ち幅跳び、握力、上体起こし、長座体前屈)</p>

学校名	大学科	小学科(コース)	面接・口頭試験	作文・小論文・プレゼンテーション・実技検査等
米子	普通	通	個人面接	【プレゼンテーション】 「中学校時代に頑張ったこと・今後頑張りたいこと」
米子	総合	合	個人面接	【プレゼンテーション】 次のいずれか1つをテーマとして選択 ①中学校の「総合的な学習の時間」で、あなたが取組んだことと高校で取り組みたいこと ②中学校の特別活動等で、あなたが取組んだことと高校で取り組みたいこと
米子	商業	ビジネス	個人面接	【作文】 与えられたテーマに対して考えをまとめ、考えを表現する力を検査することで、本学科にふさわしい意欲、興味、関心等を有するか把握する
		生活創造(ライフデザイン)	個人面接	【作文】 与えられたテーマに対して考えをまとめ、考えを表現する力を検査することで、本コースにふさわしい意欲、興味、関心等を有するか把握する
		生活創造(調理)	個人面接	【作文】 与えられたテーマに対して考えをまとめ、考えを表現する力を検査することで、本コースにふさわしい意欲、興味、関心等を有するか把握する
米子	工業	機械	個人面接	【実技検査】 ペーパークラフト(指定された大きさの立体作製)
		電気	個人面接	
		情報電子	個人面接	
米子	環境	環境エネルギー	個人面接	
		建設(土木)	個人面接	
		建設(建築)	個人面接	
境	普通	通	個人面接	【作文】 本校で学ぶことに対する意欲及び興味、関心を把握するためにふさわしいテーマを出題する
境港総合技術	水産	洋	個人面接 (含む口頭試験)	【作文】 調査書、志望理由書では得られない受検者の意見や考え方と表現する力をみるとともに、興味・関心・意欲等を把握するためにふさわしいテーマを出題する 【口頭試験】 当該学科に対する受検者の意欲・興味・関心を観察・把握するため、当該学科に関する基礎的知識等を尋ねる
	食品・ビジネス	メ		
	機械	機		
日野	工業	電気	個人面接	【面接(1分間のプレゼンテーション含む)】 個人面接の冒頭で、次のいずれか1つを選び、1分程度口頭で行う ①中学校でどのような力を身につけ、入学後、その力をどのように発揮したいか ②日野高校に入学して、何を頑張っていきたいか ③日野高校に入学して、どのような力を身につけたいか 【作文】 本校での学ぶ意欲や本校の特色に対する興味、関心等を把握するためのテーマを出題する
	福祉	社	個人面接	
	総合	合	個人面接	

<定時制課程>

学校名	大学科	小学科(コース)	面接・口頭試験	作文・小論文・プレゼンテーション・実技検査等
鳥取緑風	総合(単位制)	【午前】 【午後】 【夜間】	個人面接	【作文】 本校の生徒としての適性及び就学意欲、目的意識、興味、関心等を作文をとおして把握する

入学志願者の選抜のための面接及び口頭試問実施要領

1 趣 旨

入学志願者全員に対して、面接又は口頭試問のいずれかによる検査を実施することで、学校、学科又はコースに対する関心、目的意識、学習意欲、適性等を把握する。

2 実施方法等

各高等学校長は、校長を委員長とした面接又は口頭試問実施委員会を設置し、その意見を聞いた上で面接及び口頭試問の方式、時間、質問内容、評価基準等の実施方法を定める。

なお、口頭試問は、特色入学者選抜においてのみ実施することができることとし、その口頭試問においては、学校、学科又はコースに対する理解の状況や、中学校等における基礎的・基本的な学習内容の理解の状況等をみるができることとする。

3 留意事項

(1) 志願者が落ち着いて答えられるように、和やかな雰囲気の中で面接又は口頭試問ができるよう配慮する。

(2) 検査員の数は、一検査場につき複数置くこととする。

なお、検査員は十分な意思統一を図り、面接及び口頭試問が公平に行われるよう配慮する。

(3) 質問事項は、志願者が答えやすいものとなるよう精選するとともに、質問の仕方にも十分留意し、いたずらに志願者を不安がらせたり、動揺させたりすることのないよう配慮する。また、検査に当たっての配慮の対象でなくとも、吃音、難聴等により話したり聞いたりするのに配慮を要する志願者にも、適切な対応をとる。

なお、次のことについては質問しないよう留意する。

ア 志願者の思想、信条及び容姿に関すること。

イ 志願者の家庭状況及び生活環境に関すること。

ウ 学力検査に関すること。

エ 長期欠席者についてはその理由に関すること。

(4) やむを得ない事情で検査時刻に遅刻した志願者には、その者の検査時刻を遅らせるなど臨機の措置をとる。

(5) 当日、やむを得ない事情で検査を受けることができなかった志願者については、中学校長を通じて本人に改めて検査日時を通知する。

この場合、志願者は、やむを得ない事情があったことを証明するに足る書類を、中学校長を通じて志願先高等学校の校長に提出しなければならない。

入学志願者の選抜のための作文及び小論文実施要領

1 趣 旨

入学志願者に対して、作文又は小論文のいずれかによる検査を実施することで、学校、学科又はコースに対する関心、目的意識、学習意欲等を把握する。

2 実施方法等

各高等学校長は、校長を委員長とした作文又は小論文実施委員会を設置し、その意見を聞いた上で、作文及び小論文のテーマ、評価基準等の実施方法を定める。

なお、小論文は、特色入学者選抜においてのみ実施することができることとし、その小論文においては、与えられたテーマ、課題文及び資料に対して自分の考えをまとめ、筋道を立てて表現する力をみることができることとする。

3 留意事項

(1) 以下のようなテーマとならないよう留意すること。

ア 志願者の思想、信条に関すること。

イ 志願者の家庭状況及び生活環境に関すること。

ウ 学力検査に類するような専門的な知識・教養を問う内容。

ただし、ウについて、小論文においては、原則として中学校学習指導要領に示された範囲内で、発展的・応用的な内容のテーマ等は可能とする。

(2) やむを得ない事情で検査時刻に遅刻した志願者には、その者の検査時刻を遅らせるなど臨機の措置をとる。

(3) 当日、やむを得ない事情で検査を受けることができなかった志願者については、中学校長を通じて本人に改めて検査日時を通知する。

この場合、志願者は、やむを得ない事情があったことを証明するに足る書類を、中学校長を通じて志願先高等学校の校長に提出しなければならない。

入学志願者の選抜のためのプレゼンテーション実施要領

1 趣 旨

入学志願者に対して、プレゼンテーションによる検査を実施することで、学校、学科又はコースに対する関心、目的意識、学習意欲、適性等を把握する。

2 実施方法等

各高等学校校長は、校長を委員長としたプレゼンテーション実施委員会を設置し、その意見を聞いた上でプレゼンテーションのテーマ、方式、時間、評価基準等の実施方法を定める。

なお、プレゼンテーションは、特色入学者選抜においてのみ実施することができることとする。また、そのプレゼンテーションにおいては、志願者に対して事前にテーマを与えることとし、与えられたテーマに対して、自分が取り組んできたことや自分の考えをまとめ、筋道を立てて表現する力をみることができるとする。

3 留意事項

- (1) 志願者に対して、事前にプレゼンテーションのテーマ、方式、時間等を示すこととする。
- (2) 志願者が落ち着いて発表することができるように、和やかな雰囲気の中でプレゼンテーションができるよう配慮する。
- (3) 検査員の数は、一検査場につき複数置くこととする。

なお、検査員は十分な意思統一を図り、プレゼンテーションが公平に行われるよう配慮する。

- (4) プレゼンテーションの内容についての質問事項は、志願者が答えやすいものとなるよう精選するとともに、質問の仕方にも十分留意し、いたずらに志願者を不安がらせたり、動揺させたりすることのないよう配慮する。また、検査に当たっての配慮の対象でなくとも、吃音、難聴等により話したり聞いたりするのに配慮を要する志願者にも、適切な対応をとる。

なお、次のようなテーマ及び質問とならないよう留意する。

ア 志願者の思想、信条に関すること。

イ 志願者の家庭状況及び生活環境に関すること。

ウ 学力検査に類するような専門的な知識・教養を問う内容。

ただし、ウについて、原則として中学校学習指導要領に示された範囲内で、発展的・応用的な内容のテーマ、質問等は可能とする。

- (5) やむを得ない事情で検査時刻に遅刻した志願者には、その者の検査時刻を遅らせるなど臨機の措置をとる。
- (6) 当日、やむを得ない事情で検査を受けることができなかった志願者については、中学校長を通じて本人に改めて検査日時を通知する。

この場合、志願者は、やむを得ない事情があったことを証明するに足る書類を、中学校長を通じて志願先高等学校の校長に提出しなければならない。

入学志願者の選抜のための実技検査実施要領

1 趣 旨

入学志願者に対して、実技検査を実施することで、学校、学科又はコースの特性に応じた能力・適性等を把握する。

2 実施方法等

各高等学校長は、校長を委員長とした実技検査実施委員会を設置し、その意見を聞いた上で実技検査の検査内容、評価基準等の実施方法を定める。

3 留意事項

- (1) 検査は、中学校で学習した基礎的・基本的な事項について行う。
- (2) やむを得ない事情で実技検査時刻に遅刻した志願者には、その者の実技検査時刻を遅らせるなど臨機の措置をとる。
- (3) 当日、やむを得ない事情で実技検査を受けることができなかった志願者については、中学校長を通じて本人に改めて実技検査日時を通知する。

この場合、志願者は、やむを得ない事情があったことを証明するに足る書類を、中学校長を通じて志願先高等学校の校長に提出しなければならない。